

熱田区船方学区

避難行動マップ

わが家の指定緊急避難場所・指定避難所を確認しておきましょう。

～災害なんかに負けない地域づくり～

命の絆は、笑顔であいさつ助け合い

この避難行動マップは、名古屋市が公表した「南海トラフ巨大地震の被害想定」をもとに、大規模地震が発生した場合を想定して、船方学区にお住いの皆さまが、お住いの地域の危険箇所や避難経路などについて確認し、作成したものです。この避難行動マップをもとに「いざ」という時どんな行動をとればよいのか日ごろから考えておきましょう。

津波避難ビル一覧

番号	名称
A	船方小学校(北校舎棟)
B	船方小学校(東校舎棟)
C	日比野中学校南校舎(校舎棟)
D	二番荘4号棟
E	船方荘
F	名古屋市工業研究所(管理棟)
G	名古屋市工業研究所(研究棟)
H	名古屋市工業研究所(電子技術総合センター)
I	名古屋学院大学 名古屋キャンパスしろとり
J	喜多村工業株式会社寮 松風荘
K	特別養護老人ホーム 喜多乃郷
L	白鳥橋ポンプ所(雨水排水施設上屋)
M	タイハウ熱田六番南ビル

指定避難所一覧

番号	名称
1	船方小学校
2	日比野中学校南校舎
3	船方コミュニティセンター
4	熱田生涯学習センター
5	名古屋市工業研究所
6	名古屋学院大学 名古屋キャンパスしろとり

地域防災協力事業所一覧

名称
宝和化学株式会社 敷地の提供
名古屋医療情報専門学校 一時避難場所として建物ロビー等の使用提供
ガスト熱田一番店 一時避難場所として駐車場の提供
コジマ×ビックカメラ熱田店 一時避難場所として立体駐車場の提供
喜多村工業株式会社 一時避難場所の提供(敷地)、資機材の提供(足場用パイプ等)
愛知時計電機株式会社 一時避難場所として体育館の提供備蓄品の提供
イオンタウン熱田千年 一時的な避難場所として駐車場の提供・食料、生活物資等の提供
ティア熱田 一時的な避難場所の提供(駐車場)、AEDの貸出し
ナカシャクリエイテブ株式会社 AEDの貸出し、救命講習を修了した社員の地域への派遣

凡 例			

役に立つもの！

1. コンビニエンスストアなど

「災害時帰宅支援ステーション」として、公共交通機関が不通となった時、徒歩で帰宅しようとする人たちを支援する店舗もあります。トイレや避難スペースの提供など災害時可能な範囲で協力が得られます。

2. 地域防災協力事業所

災害時に地域に対して支援協力してくれる事業所です。

3. 公衆電話

NTTが設置する公衆電話は、災害時には優先的につながり、状況に応じて無料になります。

4. 災害救援自動販売機

対象となる自動販売機には、停電時でも飲料提供ができることが説明された看板がついています。

5. 下水道直結式仮設トイレ

マンホールに直結できる仮設トイレです。避難所のトイレ不足を補います。



6. 地下式給水栓

災害時に地域のみならず自ら操作していただくことで、飲料水を確保するための設備です。



7. 津波避難ビル

大津波警報が発表されたとき、高台への避難が困難か、避難する時間がないときなどに一時的に避難する施設です。

町内会・自治会に加入しましょう。

町内会の一時集合場所

地域の避難先の表示



指定緊急避難場所…命を守るため、災害の危険からまずは逃げるための場所(災害の種類ごとに異なる。)
指定避難所…自宅が被災して帰宅できない場合、一定期間、避難生活を送るためのところ

気をつけて！

災害時に避難する際には、狭い道路はふさがれ通れなくなったり、通行時に怪我をしたりする恐れがあります。避難時は周りの様子を気をつけよう！

- ① 耐久性のない古い(空)家
- ② 道路に面する高いブロック塀
- ③ 建物からの飛散ガラスの落下
- ④ 自動販売機の転倒やマンホールの隆起
- ⑤ 切れて垂れ下がった電線
- ⑥ 浸水、冠水しやすい場所

熱田区船方学区 災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、名古屋市の中でも比較的強い**震度6強**の揺れが想定されます。まずは身を守りましょう。このときに怪我をしないよう、日頃から家具の転倒防止などの耐震対策に努めましょう。また、津波の名古屋港への到達時間は96分と予測され、船方地区では**2時間程度から浸水**が始まります。この時間を最大限に使い、熱田台地等の高台か津波避難ビルへ避難しましょう。

また、**液状化現象**が起きる可能性が高い箇所がいくつかあります。建物が傾いたり、路上に泥水が溢れ出し、通ることができなくなります。これらを踏まえ、適切な避難先と、そこまで安全にたどり着くための経路をあらかじめ考えておきましょう。

地震発生！ 災害時の対応

揺れた

●身の安全の確保

- 頭を守り揺れがおさまるまで待つ
- 安全に消せる場合は火を消す
- 家具や家電の転倒や落下、ガラスの破片などに注意



丈夫な机がない時は、クッション、かばん、ナベなど身近にある物で頭を守りましょう

安全にすばやい避難行動をとるためにも、**自宅の耐震化や家具転倒防止対策**は日頃からしっかり進めておきましょう



情報の入手や判断が難しい方

例えばこんな方

目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障害のある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など。

対応方法



移動が難しい方

例えばこんな方

普段、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦さんなど。

対応方法



揺れがおさまった

●火が出たら初期消火

- ガスの元栓を閉める・ブレーカーを落とす
- 怪我をしないように靴やスリッパをはく
- 家族の安否・家屋の被害状況の確認
- 出入り口の確保
- ラジオやスマートフォンなどからの正しい情報の入手
- 非常持ち出し品の準備
- 避難する際の戸締り ●ご近所の安否確認

地域には、町内会・自治会単位に結成された自主防災組織があり、災害時に初期消火・救出救護等の活動を行います。地域の被害を小さくするため、自主防災組織の活動にご協力をお願いします。



大津波警報発表

堀川より東側の熱田神宮のある熱田台地（津波浸水想定区域外）に徒歩で避難。間に合わない場合は津波避難ビルに避難。

大津波警報解除
避難勧告解除

災害の危険解消

自宅での滞在が可能か

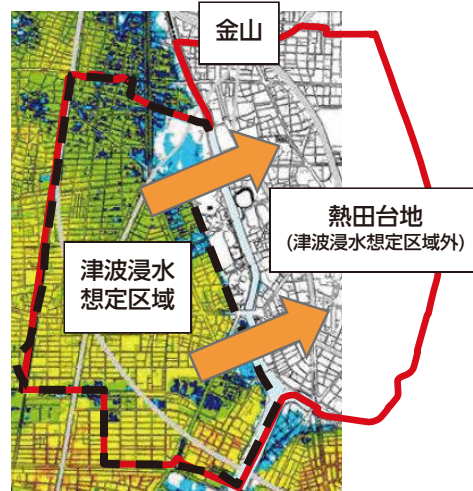


在宅避難



避難先へ

津波浸水想定区域外へ避難



津波避難ビル表示マーク



一人では逃げられない方への対応

過去の災害では、周囲からの「声掛け」と「避難の手伝い」が、下記のような高齢者や障害のある方などの避難行動を早めました。日頃から一人で逃げられない方を把握し、地域みんなで、いち早く避難行動が取れるよう**協力**しましょう。

自宅に住めるなら、なるべく自宅で避難生活を！

避難所は、不特定多数の方が避難生活を送るため、環境の変化とともに大きな負担がかかることが想定されます。火災や家屋倒壊などの危険がない場合は自宅で避難生活を続ける”在宅避難”を考えましょう。その際は、右記のことを心がけましょう。



備蓄品・非常持出品 チェックリスト

災害や避難に備えて、ふだんから準備・点検しておきましょう。

備蓄品の例 災害に備えて用意しておきたいもの

命をつなぐために用意しておきたいもの

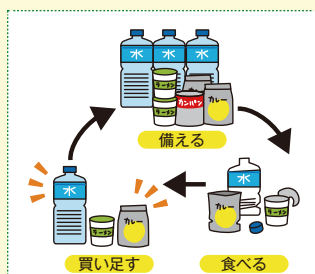
- ☐ 保存がきく食品（自分が食べやすいもの）
 - ☐ 常備薬（持病の薬を含む）
 - ☐ 飲料水（ペットボトル）
- 1人1日3リットルが目安です。また、水分の多い食品（ゼリーなど）と組み合わせることで量を減らすことができます。

7日分程度用意しましょう

内3日分程度は非常持出品へ

非常持出品の例 避難する時に持っていくもの

防災用品 ☐ 携帯ラジオ ☐ ヘルメット・防災ずきん ☐ 軍手 ☐ マスク	照明等 ☐ 懐中電灯（電池含む） ☐ マッチ・ライター	食器類 ☐ はし・スプーン ☐ 紙皿・紙コップ	衣料品 ☐ 衣類（着替え） ☐ タオル（大小2種類）
貴重品 ☐ 現金（小銭も必要） ☐ 預（貯）金通帳の写し ☐ 健康保険証・免許証の写し ☐ カード類 ☐ 認印・印鑑など	医療用品 ☐ 三角せん ☐ 包帯・ガーゼ ☐ ばんそうこう ☐ 消毒薬 ☐ ウエットティッシュ（ティッシュ） ☐ お薬手帳	便利用品 ☐ 筆記用具 ☐ 新聞紙 ☐ 携帯トイレ ☐ ゴミ袋 ☐ キッチン用ラップ ☐ 使い捨てカイロ ☐ 雨具 ☐ 手持携帯電話充電器	その他（個人的に必要なもの） ☐ 粉ミルク ☐ 紙おむつ ☐ 生理用品 ☐ 予備のメガネ・補聴器など



※ローリングストック法
家庭で消費している日持ちする食品を余分にストックしておき、使った分を買い足すことで、普段の生活の中で負担なく備蓄することができます。

